

教職に関する専門教育科目採点基準 小学校

1枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	(A) 普通教育 (B) 真理 (C) 公共の精神 (D) 職務上知り得た秘密	順序は問わない。 内容を正しくとらえて いれば、表現は異なっ てもよい。	各3×4	20
	教員は、授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を 離れて研修を行うことができる。 教育公務員は、任命権者の定めるところにより、現職のまま、長期 にわたる研修を受けることができる。		各4×2	
2	観点別学習状況の評価を適切に行っていくことや、個人内評価を取り 入れること。 また、指導と評価の一体化を図る中で、論述やレポートの作成、発表、 グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動に取り組み せるパフォーマンス評価などを取り入れ、ペーパーテストの結果にとど まらない、多面的・多角的な評価を行っていくこと。 さらに、総括的な評価のみならず、一人一人の学びの多様性に 応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、子供たちの資質・能力がど のように伸びているかを、例えば、日々の記録やポートフォリオなどを通 じて、子供たち自身が把握できるようにしていくこと。	内容を正しくとらえて いれば、表現は異なっ てもよい。	12	
3	(A) インクルーシブ教育システム (B) 通級による指導	内容を正しくとらえて いれば、表現は異なっ てもよい。	各3×2	12
	学校生活だけでなく家庭生活や地域での生活を含め、長期的な視点に 立って幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行うため、家庭や医療 機関、福祉施設などの関係機関と連携し、様々な側面からの取組を示し た計画。		6	
4	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡 単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ 親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を 意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことが できる基礎的な力を養う。	内容を正しくとらえて いれば、表現は異なっ てもよい。	10	
5	学校いじめ防止基本方針に基づく対応が徹底されることにより、教職 員がいじめを抱え込まず、かつ、学校のいじめへの対応が個々の教職員 による対応ではなく組織として一貫した対応となる。	順序は問わない。 内容を正しくとらえて いれば、表現は異なっ てもよい。	各5×3	15
	いじめの発生時における学校の対応をあらかじめ示すことは、児童生 徒及びその保護者に対し、児童生徒が学校生活を送る上での安心感を与 えるとともに、いじめの加害行為の抑止につながる。			
	加害者への成長支援の観点を基本方針に位置付けることにより、いじ めの加害者への支援につながる。			
6	各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教 科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配 列していくこと。	順序は問わない。 内容を正しくとらえて いれば、表現は異なっ てもよい。	各5×3	15
	教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する 調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改 善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。			
	教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の 資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。			
7	「主体的な学び」の視点からは、児童生徒が問題意識を持ち、自己を 見つめ、道徳的価値を自分自身との関わりで捉え、自己の生き方につい て考える学習とすることや、各教科で学んだこと、体験したことから道 徳的価値に関して考えたことや感じたことを統合させ、自ら道徳性を養 う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を 見付けたりすることができるよう工夫することが考えられる。	内容を正しくとらえて いれば、表現は異なっ てもよい。	16	